様式３(2020.06改)

作成日　令和　２年　８月　３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400060
事業所名	グループホームかがやき

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	周囲の住宅は少なく、法人内他事業所とともに広い敷地の中在ることもあって、なかなか地域とのつきあいが進まない状況にありますが、町内のウォーキング大に参加することは開設以来継続しています。一番短い距離を利用者と職員とで仲良く参加、事業所からもボックスティッシュの協賛品を提供しています。また敷地内に多種事業所があることから、お互い行事やボランティア訪問を共有しあえるスケールメリットもありますが、本年はことごとく中止で享受できていません。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	普段の運営推進会議は、町内会長、老人クラブ、民生委員、市会議員　高齢者安心サポートセンター（地域包括支援センター）が集まってくださっていますが、コロナ禍となり、人が集まることは避け、書面開催に切り替えています。各家庭に意見を伺い、「こういった意見がありました」との報告や、挙がった質問の回答を議事録としてまとめ、市役所へ議事録を届けています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	「口頭や文字だけでなく、写真があったら様子が伝わるのでは？」との高齢者安心サポートセンター職員の助言から、運営推進会議における事業所報告では写真での活動紹介があるようになった事例もあり、日ごろから何かと助けられています。コロナで市役所主催の研修会などは中止されていますが、昨年は「介護計画書のついて」の講座に介護支援専門員が参加して学びを得ています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	事業所通信「かがやきだより」は、ほぼ全員写真OKで、「うちのおばあちゃん、今月の映ってないんですよ」との家族チェックも都度入るため、「なんとか全員載せる」との意気込みで取り組み、職員もベストショットを掴むのが上手になっています　面会はタブレットでリモートの希望もありましたが、大半は玄関のガラス越しで、平屋であることが幸いし各居室の窓からも逢瀬を楽しめます。コロナ対策は「家族の全面的な協力」が得られ、らねぎらいの言葉が寄せられています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	○	○	○	×	○	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										